

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

デリカウイング株式会社 東広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地11-9

(3) 業種

食料品製造業(そう(惣)菜製造業)

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和4年度を基準年度とし、令和5年度から令和7年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 環境経営方針

デリカウイング株式会社は経営理念である『HAPPY TOGETHER』(セブン-イレブンのお客様やお客様、仕入先や地域の方々までの幸せを実現する)を念頭に置き、すべての従業員が地球規模の環境保全に貢献する活動を展開、推進します。

2. 行動指針

①環境負荷の低減

変化への対応と基本の徹底を基軸としABCD運動を実施し、省エネルギー、原材料ロスの削減、食品廃棄物の削減を推進し、環境負荷の低減を続けます。

②循環型社会の形成

食品廃棄物及びその他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

③環境への配慮

環境問題に対する意識の向上を図り、環境に配慮した機械設備や備品等の購入を推進します。

④法令順守

環境関連法規制等を遵守して環境保全活動に努めます。

⑤地域との共存

環境保全活動に積極的に取り組み、地域社会との良好なコミュニケーションを図ります。

⑥社外公表・周知

環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境活動レポートを公開します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和 4年度	令和 4年度
二酸化炭素	5,979	5,979

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 4 年度)		削減目標		目標年度 (令和 7 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	5,979	17.8	1,062			4,917
非エネルギー起源CO ₂						0
メタン						0
一酸化二窒素						0
その他 温室効果ガス						0
温室効果ガス 実排出量総計	5,979	17.8	1,062			4,917
温室効果ガス みなし排出量		-				4,917
目標設定の考え方	①生産数量は年2%増加。 ②エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減とする。 ③2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。 ④電気排出係数は2023年度報告中国電力基礎排出係数0.000529t-CO ₂ /kWhで算出					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産数量(百万個)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 4 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 7 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	5,979	20.56	290.81	22.5	4,917	21.82	225.34
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	5,979	20.56	290.81	22.5	4,917	21.82	225.34
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	-	-	141.78	3.0	-	-	137.59
目標設定の考え方	①生産数量は年2%増加。 ②エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減とする。 ③2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。 ④電気排出係数は2023年度報告中国電力基礎排出係数0.000529t-CO ₂ /kWhで算出						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	都市ガス使用原単位の年1%削減	①エネルギー見える化の検討、実施 ②省エネ活動の推進
2	電気使用量の削減	電気使用原単位の年1%削減	①エネルギー見える化の検討、実施 ②作業室室温の適正な温度管理 ③消灯活動の推進
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

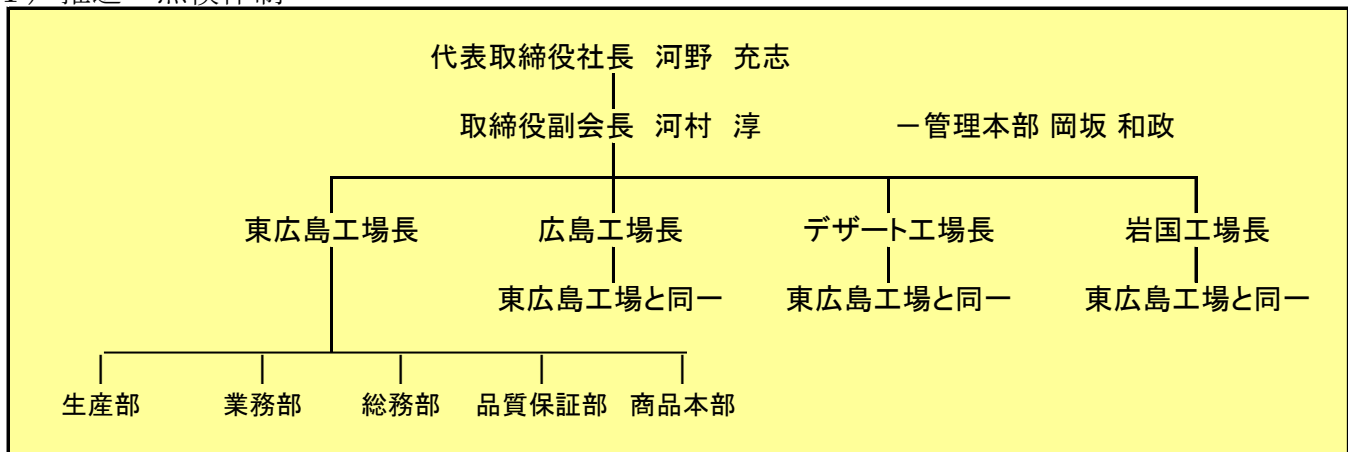
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エコアクション21の 認証取得、活動継続	活動開始：2020年6月 認証登録：2022年9月1日付	全社でエコアクション21の活動を継続する
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ①各工場において開催しているエコアクション21推進委員会にて温室効果ガス削減計画の取組状況の説明、点検及び問題点の検討を行い、定期的な評価・見直し等を行なう。
- ②毎年の取組状況・点検・評価内容については環境経営レポートを公表する。

(3) 計画書等の公表

各工場にエコアクション21活動掲示板にて掲示する。

(4) 事業所位置図



Google マップより